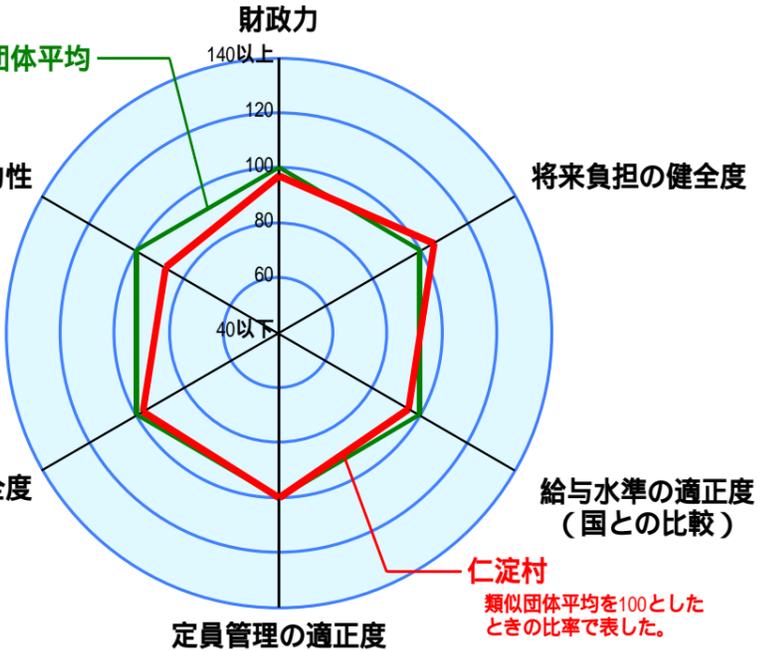
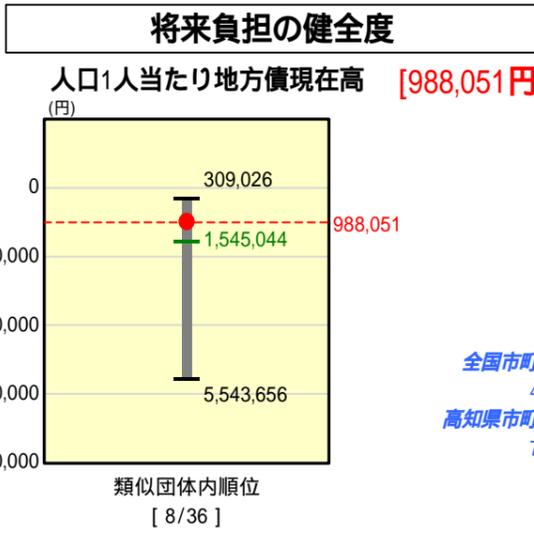
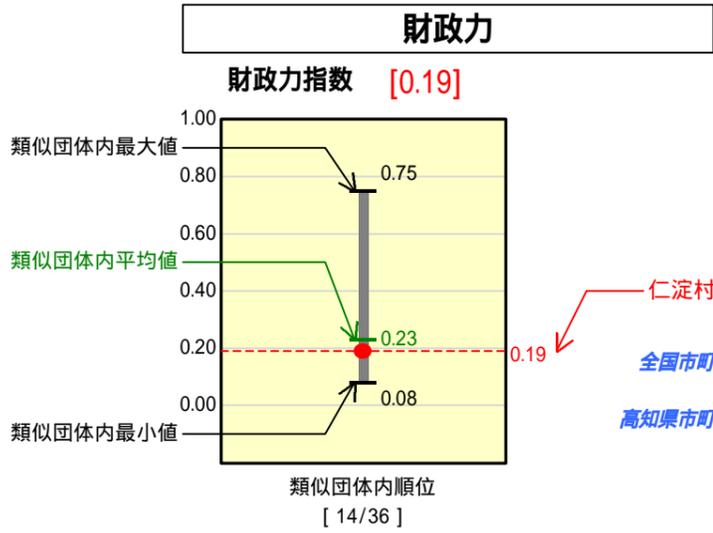


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

高知県 仁淀村

人口	2,499人(H17.3.31現在)
面積	106.16 km ²
歳入総額	2,767,583千円
歳出総額	2,604,466千円
実質収支	89,913千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
・類似団体平均の0.16に対し、0.19とほぼ平均にはあるが、人口減少や全国トップレベルの高齢者比率（16年度末41.0%）に加え、長引く不況による税収も落ち込んでおり、財政基盤は弱い状態である。平成17年8月に近隣2町村と合併したが、今後活力ある町づくりと行政の効率化に務め、財政の健全化を図る。

【経常収支比率】
・ここ数年税収、普通交付税等の大幅な減により、経常収支比率が急激に悪化しており、類似団体平均の89.5%を大きく上回る99.5%となっている。財政の硬直化が著しく、今後の大きな課題となっている。このため人件費等の抑制、起債借入を抑え、有利な起債のみ借りることとする。

【起債制限比率】
・ここ数年税収、普通交付税等一般財源の大幅な減により、起債制限比率にも大きく影響しており、類似団体平均10.6%を上回る11.7%となっている。今後一般財源は減る中で、公債費の負担割合は増える一方となるため、必要最小限度の起債の借入とし、借入には、過疎債等普通交付税措置の有利な起債のみとする。

【人口1人当たり地方債現在高】
・類似団体平均1,545,044円に対し、988,051円と過去に繰上償還を行ってきた成果は出ているが、今後も繰上償還可能な起債は財政状況をみながら検討していく。また借入は、過疎債等有利な起債のみとする。

【ラスパイレス指数】
・類似団体平均89.6%を上回る91.5%となっているため、合併後において国の制度改革に併せて平成18年度から見直しを行う。また町独自の特殊勤務手当の見直しを図る。

【人口1,000人当たりの職員数】
・類似団体平均22.54人に対し、22.81人とほぼ平均にはあるが、平成17年8月の3町村合併により類似団体を大きく上回ることとなる。そのため、職員採用は、退職者5人に対して1人の割合で採用するなど職員総数を抑制していく。

